

以下、本文-----

下記臨床研究は「東海大学医学部臨床研究審査委員会」の承認および研究機関の長の許可を得て実施しています。当該試料・診療情報等の使用については、研究計画書に従って匿名化処理が行われており、研究対象者の氏名や住所等が特定できないよう安全管理措置を講じた取り扱いを厳守しています。

本研究に関する詳しい情報をご希望でしたら問い合わせ担当者まで直接ご連絡ください。また、本研究の成果は学会や論文等で公表される可能性があります。個人が特定される情報は一切公開しません。

本研究の研究対象者に該当すると思われる方又はその代理人の方の中で試料・診療情報等が使用されることについてご了承頂けない場合は担当者にご連絡ください。なお、その申出は研究成果の公表前までの受付となりますのでご了承願います。

「大後頭孔周辺の架橋静脈の正常解剖と硬膜動静脈瘻の血管構築及び病態の解析」の研究

1. 研究の対象

(研究 1)

2013年1月1日～2022年10月31日の間に東海大学医学部付属八王子病院および共同研究機関で椎骨動脈の灌流領域の脳動脈瘤（椎骨動脈瘤・脳底動脈瘤・小脳動脈瘤・後大脳動脈瘤）や脳腫瘍等の検査目的に椎骨動脈の脳血管撮影検査を受けられた方 100名を対象としています。

(研究 2)

2013年1月1日～2022年10月31日の間に共同研究機関で大後頭孔の架橋静脈に発生した硬膜動静脈瘻の治療を受けられた方 20名を対象とします。

2. 研究目的・方法

(目的)

大後頭孔は頭蓋腔と脊柱管を繋げる孔であり、内部を延髄・椎骨動脈などの重要な構造物が通過しています。この部位の静脈として、大後頭孔の内側を囲むように辺縁静脈洞が存在し、延髄の静脈との間は架橋静脈で接続しています。辺縁静脈洞はさらに頭蓋内外の静脈と接続しており、それらの静脈の血管の構造はある程度解明されていますが、辺縁静脈洞と延髄の静脈との間を接続する架橋静脈の血管構築に関する報告はほとんどありません。

近年、この大後頭孔に硬膜動静脈瘻が発生しうることが報告されています。この場合、周囲の動脈と上記の架橋静脈との間に孔が開くことで動静脈瘻を生じ、延髄の静脈や脊

髄の静脈に動脈血が逆流することにより、くも膜下出血や脊髄症状などの重篤な状況となる可能性があります。ただ、この部の硬膜動静脈瘻の報告は限られており、その血管構築や病態の詳細は分かっておらず、標準化された治療法も確立されていません。

本研究の目的は、多施設共同研究により、辺縁静脈洞と延髄の静脈の間を接続する架橋静脈の画像上の正常解剖を明らかにし、さらに大後頭孔周辺の硬膜動静脈瘻の血管構築と病態を分析し、治療法を確立することです。

(方法)

当院において上記の脳動脈瘤・脳腫瘍等に対する椎骨動脈の脳血管撮影検査や硬膜動静脈瘻の治療を受けられた方で、研究者が診療情報をもとに年齢・性別・症状、診断名などのカルテ情報、治療内容、治療結果、MRI 画像、CT 画像、脳血管撮影画像のデータを選び、上記の架橋静脈や硬膜動静脈瘻の血管構築と症状、治療結果、合併症などに関する分析を行います。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

- ・ 試料：なし
- ・ 診療情報等：
 - ・ 年齢、性別、症状、診断名などのカルテ情報 等
 - ・ 治療内容、治療結果、合併症 等
 - ・ MRI 画像、CT 画像、脳血管撮影画像などの画像検査データ 等

4. 研究組織

主管機関名 大阪大学大学院医学系研究科 脳神経外科学
研究代表者 大阪大学大学院医学系研究科 脳神経外科学 講師 中村元

共同研究機関

大阪医療センター 脳神経外科 藤中俊之
岡山大学病院 脳神経外科 平松匡文
久留米大学病院 放射線科 田上秀一
大分大学医学部 放射線科 徳山耕平
筑波大学附属病院 脳神経外科脳卒中予防治療学講座 松丸祐司
聖路加国際病院 神経血管内治療科 新見康成
慶応義塾大学病院 脳神経外科 水谷克洋
熊本大学 画像動態応用医学共同研究講座 清末一路
富山大学 脳神経外科 秋岡直樹
藤田医科大学 脳卒中科 中原一郎
京都大学 脳神経外科 石井暁

広南病院 血管内脳神経外科 松本康史
虎の門病院 脳神経血管内治療科 鶴田和太郎
東海大学医学部付属八王子病院 脳神経外科 青木吏絵
香川県立中央病院 脳神経外科 高橋 悠
倉敷中央病院 脳神経外科 池田宏之

5. 情報の提供先・提供方法

この研究に使用する情報は、以下の共同研究機関に電子データとして提供させていただきます。提供の際、氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できる情報は削除し、提供させていただきます。

大阪大学大学院医学系研究科 脳神経外科学
〒565-0871 大阪府吹田市山田丘 2-2
電話 06-6879-3652

6. 利益相反に関する事項

本研究は、第 38 回 NPO 法人日本脳神経血管内治療学会学術集会の資金で実施されます。利益相反はありません。また、研究責任者は本研究に係る利益相反に関して、東海大学の利益相反マネジメント委員会に申告し、その審査と承認を得て実施されます。

7. お問い合わせ先

東海大学医学部付属八王子病院 (電話：代表 0462-639-1111 代表)
研究責任者/問い合わせ担当者 脳神経外科 青木 吏絵

-----以上